

学んでみませんか？

を目指して

共創型リーダー

探求する

求められることを

社会から



AIST Design School for science in society

産総研デザインスクールのご案内

未来の暮らしを「共創する」リーダーに

2018年、国立研究開発法人 産業技術総合研究所(以下、産総研)は「これからの社会でほんとうに必要とされること(共通善)」を探究し、未来社会を創造する“共創型リーダー”を育むための教育プログラムを立ち上げました。

産総研デザインスクールの 受講対象者

- ①企業等の研究・開発に携わり成果を社会に送り届けたい人
- ②新規事業開発を模索している人
- ③チームメンバーの強みを活かしたチームを形成したい人
- ④自分は「何者であるのか」「何を成し遂げたいのか」を見極め、実際に実行したい人

どんな“デザイン”を学ぶのか？

“共創型リーダー”に大切だと考えられるデザイン・シンキングをはじめとした思考法、未来やSDGs、コミュニティといったテーマの理解、そしてリーダーシップ・マインドなどさまざまなスキルセットやマインドセットを、ひとつの流れの中で学びます。



内省力、軸力、対話力

自己や他者を理解し、
チームを導く力。

- クリエイティブ・リーダーシップ
- キャリア・リーダーシップ



俯瞰力、探索力

社会や未来を俯瞰してとらえ、
取り組むべきことを探索する。

- システム・シンキング
- アート・シンキング
- スタディー・ツアー
- 未来洞察



共感力、共創力

多様な仲間とチームを創り、新たな
アイデアや技術を創り出す力。

- デザイン・シンキング



実践力

社会の中で試行錯誤を繰り返し、
人々とともに技術や製品を育む力。

- コミュニティ・シンキング
- 社会実験
- クリエイティブ・ファシリテーション

さらに、これらのコンピテンシーを支える「答えの出ない事態に耐える態度」=ネガティブ・ケイパビリティを学んでいきます。

産総研デザインスクールならではの3つの特徴

産総研研究者をはじめ
技術者やクリエイターなど多様な
人材とのオープン・イノベーション



プロジェクト・ベースド・
ラーニング型で、座学ではない
課題解決力を育む



フィールドリサーチや
ラピッドプロトタイピングを実験し
リアルな体感を得る



講師

● クリエイティブ・リーダーシップ

“世界で最も刺激的なビジネススクール”と称されるデンマークの
ビジネスデザインハイブリッドスクール KAOSPILOT

● デザイン思考

東京大学生産技術研究所機械・生態系部門 価値創造デザイン推進
基盤 / RCA-IIS Tokyo design lab マイルス・ペニンントン教授

● 問いのデザイン

株式会社 MIMIGURI デザインストラテジスト 小田裕和氏

● 未来洞察

一橋大学 鷲田祐一教授

授業実績

● 北欧・デンマークへのスタディーツアー

KAOSPILOTへの3days留学や、“共創”や
“社会課題解決”の先進事例に数多く触れます



● 産総研の拠点「柏の葉」でのフィールドワーク

地域の皆様との対話、ラピッドプロトタイピングを
通して社会へ受け入れられる技術を考察します



受講概要

● 開校期間・受講時間等

- ・ 毎年7月上旬から2月末までの8ヶ月
- ・ 毎週金曜日 10:00~17:00(講義内容によって変動します)
- ・ 月1回 30分/1名のメンタリング・セッション
(2024年度は実施形態が変化する場合があります)
- ・ 講義により事前・事後課題が課される場合があります。
- ・ 任意参加として、別途10日前後の欧州スタディーツアーを行います。

● 受講対象者

法人格を有する企業または組織に属し、将来技術経営を担うことが
期待される者(一部、通訳を介した英語による講義・ワークショップになります)

● 受講生数など

受入予定数は約15名。プロジェクトの多様性を担保するため、特定
企業の課題・文化に偏らないように、各企業最大2名までの参加とさ
せて頂いています。

● 選考方針と選考方法

選考においては、下記のポイントについて履歴書、小論文、推薦書
などの提出書類と面接によって、総合的に審査します。

- ・ 産総研デザインスクールの目的の理解
- ・ 専門領域において知識を有しながら深める能力を持っていること
- ・ 受講に対する熱意や高い志を有すること
- ・ コース修了後、組織の経営を担うことが期待されていること
- ・ 実際にアイデアを社会実装するために、知識の統合と共創に際して
お互いの能力を尊重しながらチームを構成できること

● 受講費

スクールプログラム受講費用:120万円(税別)/1名
主な内訳

- ・ ワークショップ(約30回を想定*開催回数はコース中に増減する可能性があります)
- ・ メンタリング
- ・ チームプロジェクトの社会実践に対するサポート

※欧州視察研修は希望者による任意参加としますが、共創型リーダーの育成にあたり
非常に重要な位置づけであるため、参加を強く推奨致します。参加にあたり渡航費用、
宿泊費、食費、現地交通費などは、受講費とは別に各社負担となります。

● その他注意

国内外で移動が発生した場合、原則現地集合・解散となります。その
ため、国内外旅費や移動に伴う事故等の責任は、別途各企業・組織で
ご負担ください。

● 募集要項

募集要項をご希望の方は、産総研デザインスクール公式サイト
<https://plus-sdesign.jp/>でダウンロードください。

お問い合わせ

産業技術総合研究所 イノベーション人材部
イノベーション人材室 デザインスクール事務局

029-861-4810

Mail: M-ds-ml@aist.go.jp

公式サイトは
こちら



卒業生の声は
こちら



詳しい解説書をプレゼント!

産総研デザインスクールの内容が語られた本
「技術者たちの21世紀スキル-つくりたい未来を
つくるアプローチ」を

お送りしています。

ご希望の方はメールにて、
件名に「迷い本希望」と明記の上、
M-ds-ml@aist.go.jpまで
ご連絡ください。



産総研デザインスクール 過去の実施スケジュール(2023年度)

日程	テーマ	実施形態と回数
7月, 8月	●目的開発 ●Creative Leadership	オンライン:8回 対面:2回(柏の葉)
8月 - 10月	●未来の兆しを洞察する ●フィールドを観察・対話する ●問題を定義する	オンライン:6回 対面:2回(各自フィールド)
11月 - 12月	●課題を解決するMVPを何度も創る・試す ●他者を巻き込む	オンライン:3回 対面:3回(東大駒場キャンパス)
12月 - 1月	●MVPをブラッシュアップする ●プロジェクトをブーストする	オンライン:2回 対面:2回(柏の葉キャンパス)
2月	●他者に語り参加してもらう	オンライン:3回 対面:2回(柏の葉キャンパス)

欧州視察実践(2023年度実施例)

訪問都市	日程	内容
リンツ	1,2日目	●現地集合 ●Ars Electronica アーティストが見る世界から洞察する
	3日目	移動
ヘルシンゲル	4日目	●ファルケホイスコーレ(IPC) 対話(傾聴と問い)を実践する
コペンハーゲン	5日目	●Orsted社 大企業におけるデザインの活用 ●Royal Danish Academy 建築家が見る世界から洞察する
コペンハーゲン	6日目	●Danish Design Center 問いのワークショップ ●元デンマーク文化大臣 Uffe Elbaek氏との対話 変化のムーブメント
オーフス	7日目	●Emento社 スタートアップにおけるデザインの活用 ●KAOSPILOT ワークショップを実践する
オーフス	8日目	●DOKK1 ワークショップを実践する
	9日目	移動
コペンハーゲン	10日目	●ジャーナリスト 文化翻訳家 ニールセン北村朋子氏との対話 日本文化とデンマーク文化の狭間で感じるイノベーションの兆し ●現地解散



Danish Design Centerでのワークショップ



Danish Design Centerでの集合写真



Uffe Elbaek氏(KAOSPILOT創設者・
デンマーク元文化大臣)との対話会



Uffe Elbaek氏との集合写真